

県立湖西高等学校

グローバル・ハイスクール

令和3年度年間報告

1 <成果指標と実績>

<成果指標と実績>						
成果指標		初期値	R5年 目標値	R3年 実績(評価)	R4年 実績(評価)	R5年 実績(評価)
①「家庭学習の中心」が「自分で必要と判断した学習」である生徒の割合	1年	14.1%	40%	24.2%(D)	%()	%()
	2年	12.3%	40%	13.7%(E)	%()	%()
	3年	18.4%	40%	19.6%(E)	%()	%()
②1週間の家庭学習時間の平均	1年	13.25h	21h	16.75h(C)	h()	h()
	2年	11.25h	21h	12.0h(E)	h()	h()
	3年	13.0h	21h	10.75h(F)	h()	h()
③自ら進んで授業に取り組む生徒の割合	1年	14.6%	40%	16.4%(E)	%()	%()
	2年	15.1%	40%	26.5%(C)	%()	%()
	3年	21.2%	40%	24.9%(D)	%()	%()
④授業内容等に興味があって学校を選んだ生徒の割合		1.1%	R6年 20%	R4年 16.3%(A)	R5年 %()	R6年 %()

2 <年間の取組報告>

(1)静岡新聞 DB、PCタブレットを活用した地域の情報収集

・静岡新聞 DB を新たに契約し、各教科で情報収集のための活用を進めた。

(2)地域探究に係る施設訪問・見学の実施

- ・1年生全員で、地元の由緒ある寺院(本興寺)に出向き、地域の歴史を再認識した。
- ・1年生全員で、学校周辺の環境を清掃活動を実施しながら確認した。
- ・学んだ内容を、「湖西検定」問題作成の材料とした。

(3)「探究」授業での地域取材

- ・「家庭科」の授業の中で、地元名産品の調査でセルリ農家を訪れ、話を伺った。
- ・「現代社会探究」授業の中で、地元の飲食店を訪れ、食レポートを実施し、地元ケーブルテレビに動画を提供した。
- ・「音楽」の授業の中で、地元「鷲津節保存会」の方々から地域文化の「鷲津民謡」と「鷲津踊り」を学んだ。

(4)地域探究に係る講演会等の実施

- ・10月に生徒に対して、湖西市環境センターの職員を講師に招き「湖西市のごみ問題」についての講演会を実施した。
- ・1月に地元企業から生徒に対して、「湖西市企業が取り組む環境対策」についてのリモート講演会を実施した。
- ・1年間の地域連携を地域に広く知らせるため、「グローバル・ハイスクール事業」成果報告会を実施した(リモート発表を実施し、地域に広く発信)

(5)湖西検定の作成

・インターネットによる情報収集、地域探究に係る施設訪問、「探究」授業での地域取材、地域探究に係る講演会等から得られた知識を材料とし、「湖西検定」の作成を進め、検定の一部を産官学連携カレンダーに盛り込んだ。

(6)湖西市との協働推進

- ・湖西市商工会主催のイベントへの参加(三味線部演奏、吹奏楽部演奏、1年生家庭科授業で提案した弁当の販売、ボランティア部による学校キャラクター入りどら焼き・煎餅販売、漫画研究部によるイベント看板の制作等)。
- ・湖西市商工会主催の地元中小企業就職合同ガイダンスを、本校体育館を会場にして実施した。
- ・三味線部の演奏と湖西市 50 周年及び本校のPRを浜松駅前で行った。

(7)地域連携のためのコミュニティスペースの整備等

・地域と学校をつなぐコミュニティスペースとしての環境整備を進める計画を立て、応接室に「地域情報掲示ボード」を設置し、湖西の地域情報を常時掲示できるようにした。なお、地域情報は連携事業を検討する際の材料としても活用している。

(8)地域連携のための産官学交流・連携

- ・本校で飼育したウーパールーパーを、希望する地元企業、学校、市民に提供した。
- ・夏休みを利用した地元企業インターンシップを実施した。
- ・地元NPO法人及び地域住民と連携した「菜の花プロジェクト」を実施(菜の花畑づくり、種まき)した。
- ・地元NPO法人主催の「日本一幸せなまちづくり」の Zoom 会議に有志生徒が参加した。
- ・地元NPO法人主催の小学生対象「ものづくり講座」支援員として、生徒有志が参加した。
- ・特別支援学校生徒の作業実習の場、販売の場として、本校施設を提供した。
- ・湖西市商工会を通じて地元企業と連携し、文化祭において2年生が企業コラボ商品を手作りして販売した。
- ・市内中学校教員に呼び掛け、合同の教員研修会(ICT活用講座)を実施した。
- ・鷺津駅前において、県主催の視覚障害者に対する声掛け運動研修会への参加及び模擬実習を実施した。
- ・湖西市内の小中学校及び高校と湖西市等で協力して、産官学連携カレンダーを作成した。
- ・2年生と湖西市議会と連携した「湖西市への提言」事業を12月から1月まで3回実施した。
- ・学校キャラクターの愛称を地元企業、学校、市民に対し募集を行った。名称は”あいりす”に決定した。

(9)地域貢献人材育成のための学力育成

- ・冬休みから2年生対象に「英語力UP講座」及び「数学力UP講座」を実施した。また、「就職力UP講座」も継続実施している。地元企業への就職及び静岡県内及び愛知県内大学進学への足掛かりとした。

3 <特徴的な取組>

(1)地域の活性化～コロナ禍における地元応援企画～

- ・現代社会探究の授業では湖西市の活性化のため、高校生に何が出来るかを議論した。話し合いの結果、コロナ禍で営業自粛等を余儀なくされた飲食業界を本校生徒が食レポ取材を通して応援することにした。市内14店舗の食レポは、地元ケーブルテレビのコーナーに採用された。なお、取材依頼・企画撮影の一連の作業は生徒達自身の手で実施した。



(2)コミュニティスクールとの連携～学校運営協議委員提案による中小企業合同ガイダンスの開催～

- ・地元企業家で湖西市の「モノづくりコーディネーター」を務めている方を委員に任命している。当該委員は学校と市役所・地元企業とのハブとしての役割を果たしており、委員の提案で地元の中小企業を知ってもらうため、17社が集まり、合同ガイダンスを本校体育館で実施した。生徒は地元の人材を大切に育てる中小企業の活動を知ることにより、地域への愛着や地元の中小企業へ就職することの意義を知るよい機会となった。



(3)うな重コンテストに挑戦～3年生「フードデザイン」選択者による提案～

- ・地元企業が主催する「うな重コンテスト」に参加し、地元自慢とコラボする条件の中で、各グループで地元農産物、産業や観光名所を学んだ上で、地元自慢をレシピでいかに表現するかを考えて発表を行った。右の写真は生徒が企画・調理した地元新居の手筒花火をイメージした「うなぎの春巻き」である。なお、コンテストの結果、「うなぎの春巻き」は2番目の賞にあたる「優秀賞」を受賞した。



4 <成果と課題>

- ・年間を通じた取組は生徒の手により成果報告会として発表し、地域の小中学校及び企業、湖西市役所に配信された。
- ・本校ではグローバル・ハイスクール採択とともに学校運営協議会(コミュニティスクール)の指定を受けた。グローバル・ハイスクールは学校運営協議会を中心に据え、各委員が地域における産官学連携のハブとしての役割を担い、様々な事業に協力していただいた結果、地域での学びを今まで以上に拡大することができた。
- ・今後は総花的に実施した事業を精選した上で、恒常的事業に育てていき、地域社会に貢献する人材を育成する本校の目指す生徒像の具現化に努めていく。